



第15回日本トラウマティック・ストレス学会



写真提供：仙台観光コンベンション協会 / 宮城県観光課



みちのくで語らう、
暮らしのなかのトラウマ
～予防と回復に向けて～

主催 日本トラウマティック・ストレス学会

会期

2016年5月20日(金)・21日(土)

会場

仙台国際センター展示棟

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL.022-265-2211

演題登録期間

2015年11月10日(火)～2016年2月7日(日)

事前参加登録期間

2015年12月15日(火)～2016年4月10日(日)

**特別
講演**

東北・災害・トラウマ

赤坂 憲雄

学習院大学文学部 日本語日本文学科 教授

**基調
講演**

東日本大震災から5年

こころの復興、こころの防災の現在と未来

富田 博秋

東北大学災害科学国際研究所 災害精神医学分野 教授

**会長
講演**

社会と暮らしのなかのトラウマを考える：

東日本大震災を経て

松本 和紀

東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野 准教授

教育講演

日本におけるトラウマティック・
ストレス領域の歩み

小西 聖子 武蔵野大学心理臨床センター 心理臨床センター長

トラウマとアディクション

松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長

災害後のメンタルヘルス：

地域保健・自殺対策の視点から

大野 裕 認知行動療法研修開発センター 理事長

子どものトラウマからの回復

笠原 麻里 駒木野病院児童精神科 部長

シンポジウム

- ・災害後の地域保健と予防・早期介入
- ・こころのケアセンターの果たすべき役割
- ・故郷に還るといふこと：福島現場から
- ・次の災害に備える：DPAT体制を活かすために
- ・東日本大震災が子どもたちに与えた影響
～5年後に何が問われているのか～
- ・トラウマと子供・学校関連
- ・支援者のメンタルヘルスを支えるための実践策

- ・アルコール・薬物問題とトラウマ(心的外傷)
- ・トラウマと精神病・精神病症状
- ・トラウマと加害行動：暴力の連鎖をふせぐ介入・支援を考える
- ・「普通の生活」と隣り合わせの暴力－見つけた時にできること
- ・トラウマと喪失・悲嘆
- ・トラウマに焦点化した心理療法：理論と実践
- ・事件・事故後の心理的支援－概要と実践
- ・包括的な犯罪被害者支援－多職種連携を再考する－

※プログラムは2015年12月現在の予定です。

プレコンgres

2016年5月19日(木) 会場：仙台市戦災復興記念館

〒980-0804

仙台市青葉区大町二丁目12番1号

大会長

松本 和紀

東北大学大学院医学系研究科
精神神経学分野 准教授

**大会
副会長**

白澤 英勝

みやぎ心のケアセンター センター長
東北会病院 理事長

**大会
副会長**

原 敬造

震災こころのケア・ネットワークみやぎ 代表理事
原クリニック 院長

**大会
顧問**

松岡 洋夫

東北大学大学院医学系研究科
精神神経学分野 教授

大会事務局 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座内
TEL/FAX.022-717-8059

事務局長 佐久間篤 副事務局長 上田一気 学会担当秘書 見立京子

運営事務局 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1-5F
㈱日本旅行 九州イベントコンベンションセンター内
TEL.092-451-0606 FAX.092-451-0550

E-mail. jstss15@nta.co.jp

jstss15.com